

# インフルエンザの発生状況(富山県)

【第6週(2024/2/5~2/11) 感染症発生動向調査速報値 (2024/2/14時点)】

(人/定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)

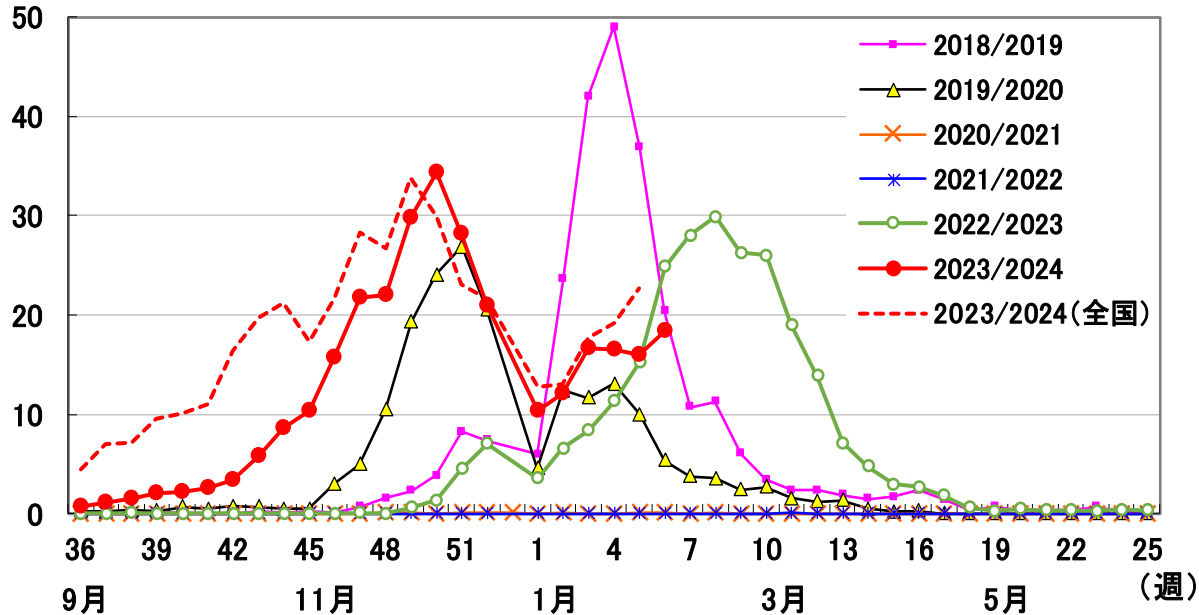
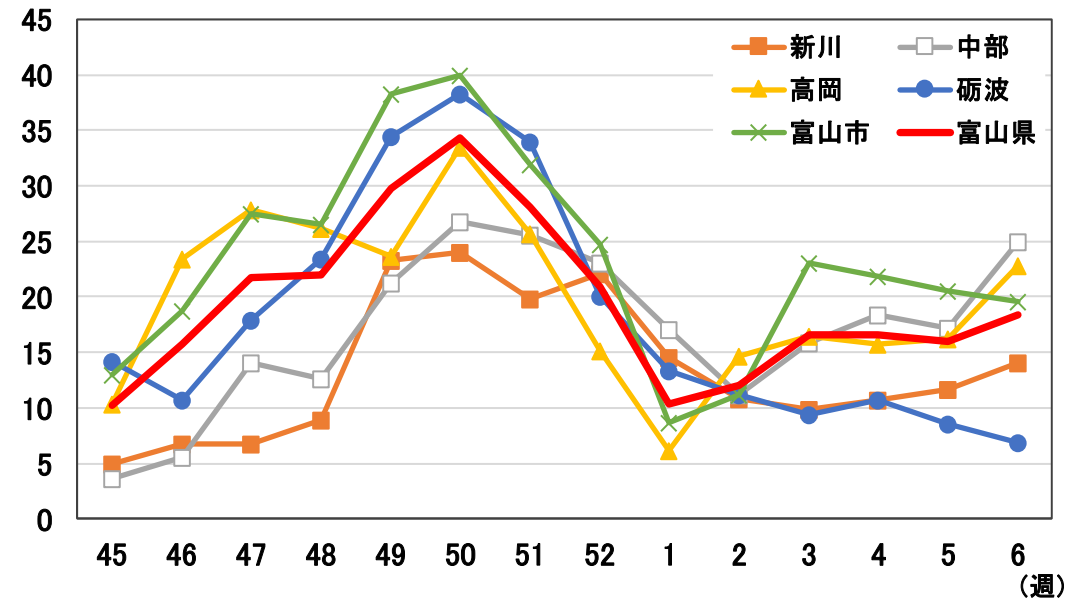


図2. 厚生センター・保健所別患者報告数(2023/2024)



- 富山県の患者報告数(図1)は今週(第6週) **18.35**人/定点となり、先週(16.00人/定点)から増加した。
- 厚生センター・保健所別に見ると(図2)、砺波、富山市管内で先週から減少した一方、新川、中部、高岡管内では先週から増加した。

図3. 年代別割合(富山県、第6週)

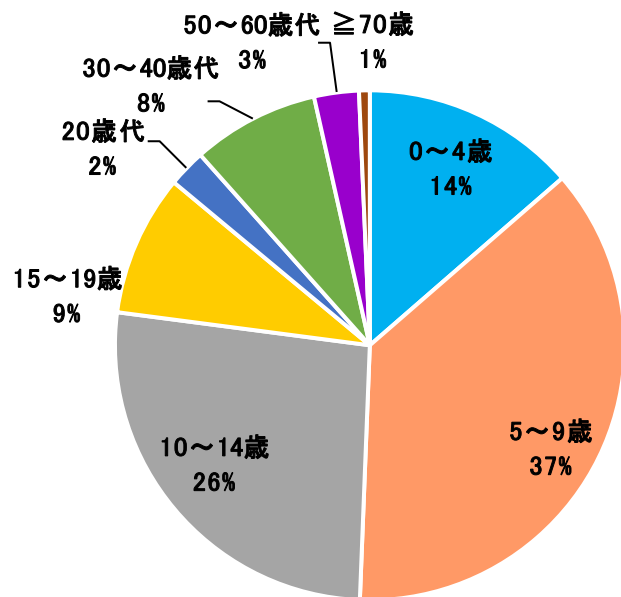
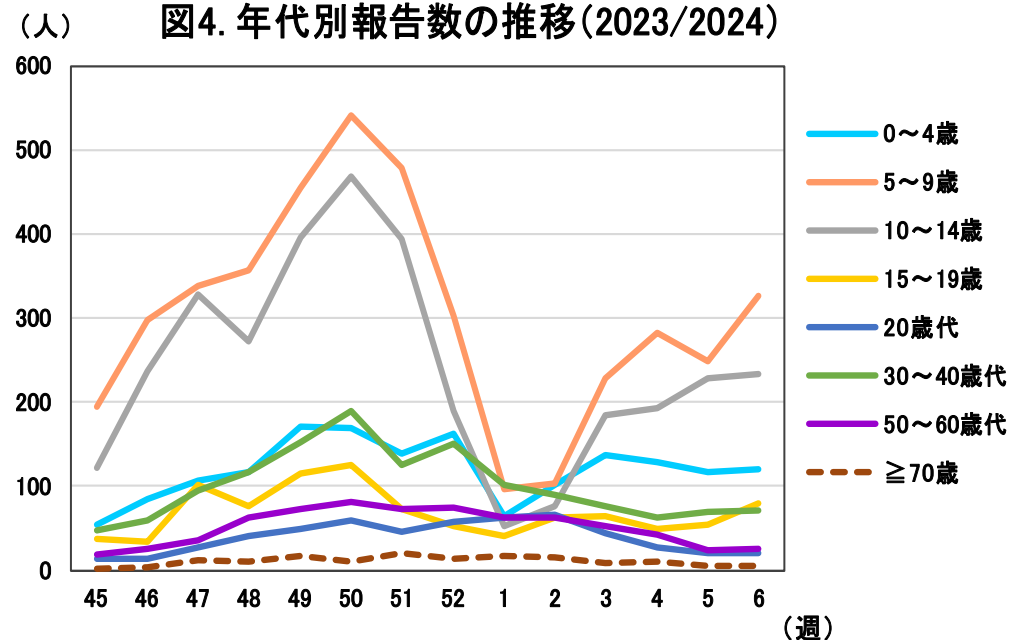


図4. 年代別報告数の推移(2023/2024)



- 富山県の第6週の年代別割合（図3）では、15歳未満の小児が77%を占め、先週（77%）と同程度であった。
- 年代別報告数の推移（図4）では、5~9歳（橙）、15~19歳（黄）の年代が先週から増加した。その他の年代では概ね横ばいであった。
- インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は第6週に29件（小学校26件、中学校2件、高等学校1件）の報告があった。

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第5週)

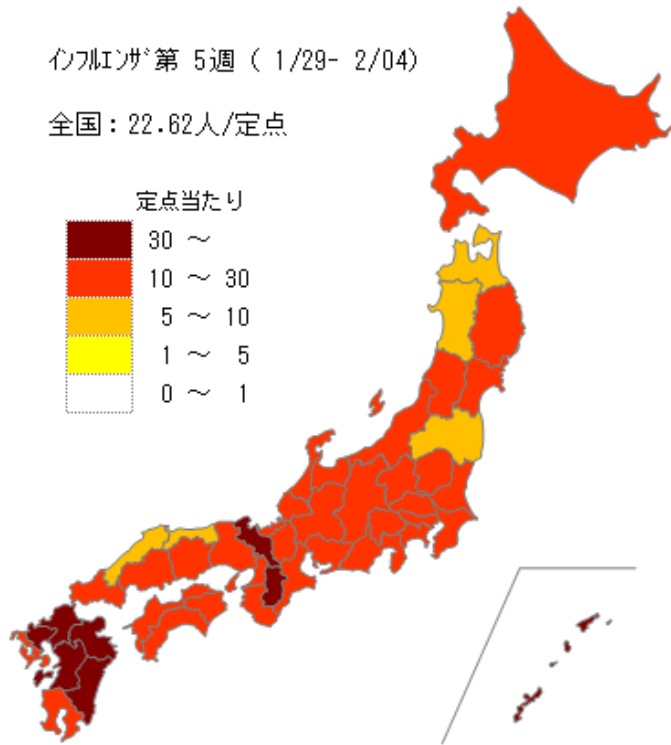
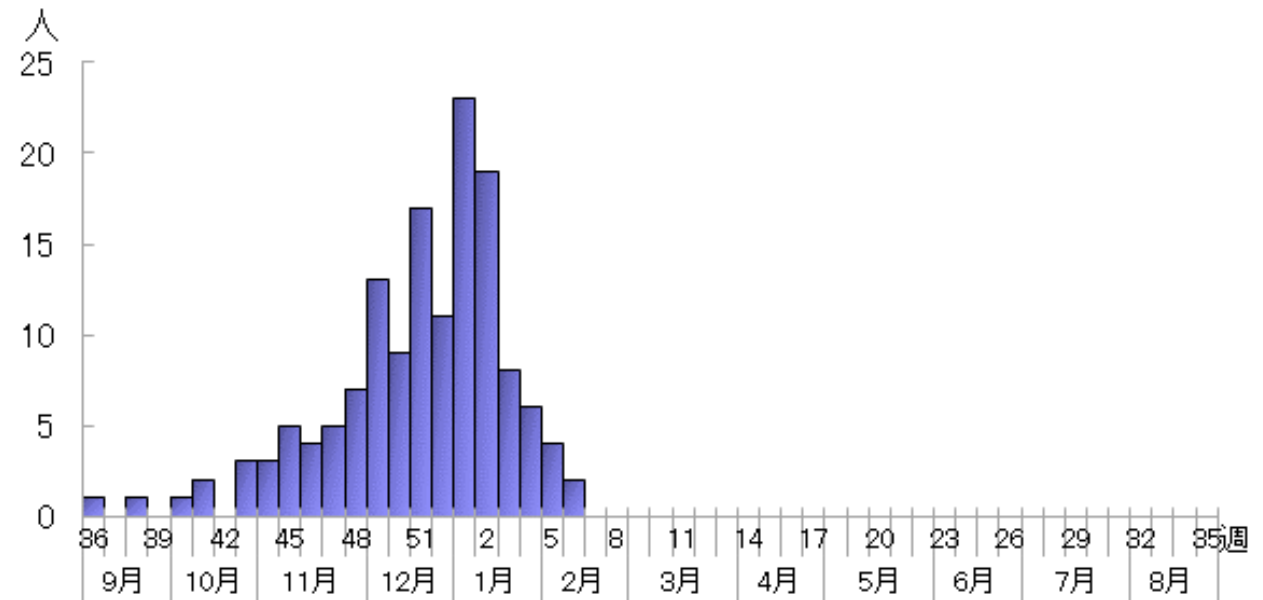


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第6週)



- 全国では第5週に22.62人/定点となり、第4週（19.22）から増加した。都道府県別（図5）では、42都府県で注意報レベルの目安である10人/定点を超え、その内8府県で警報レベルの目安である30人/定点を超えている。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス（図6）では、第6週に2例の報告（10歳未満：2例）があった。
- インフルエンザ定点の患者報告数は先週から増加し、B型の検出割合が今週40.4%に増加した（先週19.7%、[富山県感染症発生動向速報2024年第6週](#)）。引き続き今後の発生動向を注視する必要がある。